

1 1 章. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

[1] 基本計画に掲げる事業等の推進上の留意事項

(1) 個別事業等に関連した実践的・試行的活動の内容・結果等

1) 浮城・歩ラリーはしご酒

平成 22(2010)年 7 月 29 日(木) 駅前市民広場をメイン会場に第 1 回浮城歩ラリーはしご酒を開催した。参加店舗は 77 店舗、参加者は 500 名以上になり、三原駅前の夜は活気にあふれた。

この企画は、三原商工会議所サービス部会や広島県飲食業生活衛生同業組合三原支部が中心に実行委員会を立ち上げ、第 35 回三原やっさまつり協賛イベントとして開催した。参加者は指定した 3 店舗を回り、新しい飲み屋で仲間との出会いを楽しむ仕組みである。第 1 回以降、毎年開催され、平成 27(2015)年 7 月 23 日(木)には第 6 回が開催された。



2) 三原駅前市民広場の活用事業

平成 22(2010)年 4 月に三原駅前市民広場がオープンして以来、初めての本格的イベントで 5 月 22 日(土)、「第 1 回三原駅前市民広場 de テント市」が開催された。

駅前市民広場の賑わいづくりを目的に実施し、駅前周辺の人だけでなく、東部、北部、西部など周辺部から中心部へ、約 12,000 人の来場があった。出店者は 19 社 22 テントで、新鮮野菜や農産加工品、タコなどの水産物、焼肉・コロケ・焼きそば・二重焼きなど食べ物各種のほか、佐木島の柑橘類・柑橘加工品から手芸品まで多様な内容で、ステージでは、吹奏楽の演奏やキッズダンスの出演もあり、大いに賑わった。

また、毎月第 2 土曜日には、地産地消を推進するために、軽トラックにより、農水産物等を農業者や漁業者が市民に直接販売するイベントが開催された。

さらに、毎月第 1 土曜日には、大骨董市&フリーマーケットが、毎月第 3 土曜日には竹トンボや竹馬遊びなどを対象に、子どもオリンピックイベントが開催された。



[2] 都市計画との調和等

「三原市長期総合計画」、 「国土利用計画(三原市計画)」及び「三原市都市計画マスタープラン」における中心市街地の位置付けは、「10. 中心市街地における都市機能の集積の促進を図るための措置に関する事項」の「[1] 都市機能の集積の促進の考え方」で触れているように、整合が取れている。

[3]その他の事項

特記事項はなし。